

12/7JMRC千葉東京ジムカーナフェスティバル決勝コース【Asama177】設計思想

[コンセプト/狙い]

狙い：ぐねぐねうねうねぐるぐる(大小延々スラローム)

C1: オートテスト勢/2ペダル勢/ガチ勢 全員が共通のcourseで遊べる

C2: “こてこて”partは無いけど、癖強々で、それぞれ勢毎に攻めpoint有

C3: 少しドキドキpoint有

C4: 同じ箇所ぐるぐるするから、courseを頭にしっかり入れてimage膨らませた人が有利(完熟歩行に走行大事だね)

C5: 距離は詰めない その代わりに、左右のリズムは保つ 基本常に左右に過重移動する状態が続く 左右どちらかだけが続く箇所は無い

[基本理念]

P1: 直線排除(power勝負封印)

P2: 関門排除(出来る出来ない勝負封印)

P3: 平均速度高(緊張感最大化、但し、MC配慮要)

P4: 少official考慮(PT修正時間配慮)

P5: overlap考慮(後半で次走車を円滑且つ安全に可能な限り並走可能とす)

P6: 2pedale, noside, autotest entrantに最大限配慮(諄いsection排除)

P7: 素人/玄人、オートテスト、それぞれの攻め処を盛り込む

[考慮結果]

E1: 13Pから島に入って、ホームベース出口に向いたの確認で次車course in

E2: 手前外周迄、奥を周回するが、そこが若干ミスコースゾーン 左右のリズムを間違えると迷いだすし、PT/MCが増える

E3: コースアウトは、土手近傍の6P 後は、2Pや外周の7,8P侵入もリスクは低いが勢いではハミ出るかも

E4: 工夫はするが、MC/PTは井戸周り、goal前のstage下

[注意点] (運営上、選手に対して、車両損壊の危険性を認知して貰う 特に気にすべき箇所と強引に無茶した場合の危険性を告げる)

A1: 島抜け箇所、規制せず ⇒ 運転席が内側にて、転倒リスクは低い、逆にだからと言って乗り過ぎは赤旗だと諭すべき

A2: 井戸周りの10Pの手前は敢えて、Pを倒して分かり易く(泥が例年凄いので、MCすると、車もcourseも汚れるので)

A3: 井戸周り、バス停過度、排水溝周りの湿りと粘土の体積は掃除してあっても路面grip感に大きな差が生じ、controlを失い易い為、他の箇所の路面との差を意識し、過信して、踏み過ぎての通過を慎む様、促す